



宝城中学校だより

令和6（2024）年6月7日

第6号

校長 小田 哲也

学校教育目標：「集団の力を活かして、よりよい社会の創り手として「自走」できる生徒の育成」

1. 一期一会（いちごいちえ）

公立の学校（小・中学校）には、校区があって、その地域に住んでいる6歳から15歳までの子どもたちが通ってきます。「その学校（小・中学校）に行きたいからこの地域に引っ越してきた」などの理由がない限りは、地域の学校に集まる子どもたちは偶然その学校で出会うこととなります。2024年の世界の人口が約81億人、そのうち日本の人口は約1億2千万人であることを考えると、現在、世界を視野に入れて宝城中学校に通っている生徒の皆さんが出会う確率は非常に低いもので、この出会いは奇跡と言ってもおかしくはないのです。集まっている皆さんは、それぞれ家庭環境は違うし、持って生まれたものも違うので、考え方や感じ方もそれぞれです。自分が当たり前だと思っている行動が周りにいる人にとっては「当たり前ではない」ことはよくあることです。

5月の人権を考える日の取組から、「安心して安全に過ごすことができる学級づくり」を目指して「学級目標」をクラスの仲間と話し合いながら作ってきました。

そのような中、3年1組の学級目標は「一期一会」に決まったとのことでした。「一期一会」には「一生に一度限りの機会」という意味があります。その上で、この縁（出会い）を大切にするという考え方につながります。出合いを大切にすることは、出会った相手を大切にすることです。



人を大切にすることは、自分も周りから大切にされることにつながります。なぜなら誰もが、自分のことを大切にしてもらいたいという気持ちはどこかにあるからです。その時の自分の行動や発した言葉に対して、周りの人が反応を示すので、その時の人間関係や出来事の結末は、自分の行動や発した言葉が作ったものです。

2, 3年生の皆さんには、始業式の際に、自分のコミュニケーションを客観的にみつめて下さい、というお願いをしていました。あれから2か月が過ぎましたが、客観的に見た時に、自分自身が発信している言葉や行動は、プラスの言葉や行動になっていますか。あるいは、マイナスの言葉や行動になっていませんか。プラスの言葉や行動は、自分にとってプラスの結果につながる事が多く、マイナスの言葉や行動は、自分にとってマイナスの結果につながる事が多いのです。ぜひ、3年生だけでなく、全校生徒の皆さんには「一期一会」の気持ちで、周りの人と接するよう心がけて欲しいと考えています。



2. うきは市・小郡市・三井郡ブロック中体連陸上大会でがんばりました。

6月1日（土）にうきは市・小郡市・三井郡ブロック中体連陸上大会が、小郡市運動公園陸上競技場にて行われました。本校からは、3年生から さん、1年生からは、 さん、 さん、 さん、 さん、計5名の皆さんが自分自身の可能性に挑戦して、大会に参加しました。

少ない練習期間で、それぞれが自己ベストを更新することができていたとの報告を受けました。私も、応援に行きましたが、真剣なまなざしで競技に臨んでいる姿を見て、とても誇らしかったです。



共通男子走り幅跳び



1年生男子100m走



共通男子100m走



1年生男子1500m走



共通男子200m走



開会式（おまけ）

3. コミュニケーションのゴールについて

体育大会以降、生徒間で問題がちょこちょこ起きています。体育大会が成功に終わり、気が緩んでいる、もしくは気が大きくなっている、または目標がなくなってしまうことが影響していると思われます。問題が起きた皆さんに聞き取りをすると、ほとんどは、お互いに使っている「言葉」が強かったり、とっている「態度（コミュニケーション）」が、ひどかったりすることが原因のようです。

一般的に人間関係がうまくいかなくなる時は、「行き過ぎたコミュニケーション」や「すれ違いのコミュニケーション」など「コミュニケーション」が要因の一つになります。

私は、「コミュニケーションのゴールは相手を勇気づけること」だと考えています。お互いが会話をしている、あるいは会話をしていなくても一緒にいて、心が落ち着き、明日への元気がもらえるコミュニケーションができるようになりたいと常々考えて、取り組んでいるところです。

保護者の皆様には、我が子から学校で起きた出来事などについての相談を受けることがあるかと思います。PTA総会の際にもお話ししましたが、お子さまから聞いた情報だけで判断するのではなく、まずは学校にその内容をご相談下さい。学校としても、丁寧に確認して、問題解決に向けて取り組んで参ります。まずは、担任の先生や学年の先生方にご相談いただき、お互いが解決に向けて勇気が湧いてくるようなコミュニケーションをとっていただけたらと願っています。